

あきる野市教育委員会 9 月定例会会議録

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-----------|---|---------|---------|-------------|---------|----------|---------|--------|---------|----------|---------|------------------|---------|-------------|-----------|-------------|---------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 1 | 開 催 日 | 令和 7 年 9 月 2 6 日 (金) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 開 催 時 刻 | 午後 2 時 0 0 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 終 了 時 刻 | 午後 2 時 4 5 分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 場 所 | あきる野市役所 5 階 5 0 5 会議室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 日 程 | <p>日程第 1 議案第 1 7 号 令和 7 年度あきる野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 (令和 6 年度分) 報告書について</p> <p>日程第 2 教育長及び教育委員報告</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 出 席 委 員 | <table border="0"> <tr> <td>教 育 長</td> <td>丹 治 充</td> </tr> <tr> <td>教育長職務代理者</td> <td>小 西 フミ子</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>坂 谷 充 孝</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>岡 部 秀 敏</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>田 島 弘 之</td> </tr> </table> | 教 育 長 | 丹 治 充 | 教育長職務代理者 | 小 西 フミ子 | 委 員 | 坂 谷 充 孝 | 委 員 | 岡 部 秀 敏 | 委 員 | 田 島 弘 之 | | | | | | | | | | | | | | |
| 教 育 長 | 丹 治 充 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育長職務代理者 | 小 西 フミ子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 坂 谷 充 孝 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 岡 部 秀 敏 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委 員 | 田 島 弘 之 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 欠 席 委 員 | なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 事務局出席者 | <table border="0"> <tr> <td>教 育 部 長</td> <td>鈴 木 将 裕</td> </tr> <tr> <td>指 導 担 当 部 長</td> <td>三 品 孝 之</td> </tr> <tr> <td>生涯学習担当部長</td> <td>遠 藤 文 寛</td> </tr> <tr> <td>教育総務課長</td> <td>木 村 紋 子</td> </tr> <tr> <td>教育施設担当課長</td> <td>坂 本 雅 典</td> </tr> <tr> <td>学校給食センター建設準備担当課長</td> <td>和 田 達 也</td> </tr> <tr> <td>指 導 担 当 課 長</td> <td>佐 藤 宗 一 郎</td> </tr> <tr> <td>学 校 給 食 課 長</td> <td>田 倉 崇 史</td> </tr> <tr> <td>生涯学習推進課長</td> <td>石 川 尚 昭</td> </tr> <tr> <td>スポーツ推進課長</td> <td>一 瀬 秀 和</td> </tr> <tr> <td>図 書 館 長</td> <td>青 木 邦 彰</td> </tr> <tr> <td>指 導 主 事</td> <td>近 藤 壮 一 郎</td> </tr> </table> | 教 育 部 長 | 鈴 木 将 裕 | 指 導 担 当 部 長 | 三 品 孝 之 | 生涯学習担当部長 | 遠 藤 文 寛 | 教育総務課長 | 木 村 紋 子 | 教育施設担当課長 | 坂 本 雅 典 | 学校給食センター建設準備担当課長 | 和 田 達 也 | 指 導 担 当 課 長 | 佐 藤 宗 一 郎 | 学 校 給 食 課 長 | 田 倉 崇 史 | 生涯学習推進課長 | 石 川 尚 昭 | スポーツ推進課長 | 一 瀬 秀 和 | 図 書 館 長 | 青 木 邦 彰 | 指 導 主 事 | 近 藤 壮 一 郎 |
| 教 育 部 長 | 鈴 木 将 裕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指 導 担 当 部 長 | 三 品 孝 之 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生涯学習担当部長 | 遠 藤 文 寛 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育総務課長 | 木 村 紋 子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育施設担当課長 | 坂 本 雅 典 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校給食センター建設準備担当課長 | 和 田 達 也 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指 導 担 当 課 長 | 佐 藤 宗 一 郎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学 校 給 食 課 長 | 田 倉 崇 史 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生涯学習推進課長 | 石 川 尚 昭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スポーツ推進課長 | 一 瀬 秀 和 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 図 書 館 長 | 青 木 邦 彰 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指 導 主 事 | 近 藤 壮 一 郎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 事務局欠席者 | 指 導 主 事 貝 賀 健 史 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

開会宣言 午後 2 時 0 0 分

教育長（丹治 充君）

皆さん、こんにちは。あきる野市の三大まつりのほうも五日市の阿伎留神社、例大祭が229日から30日の日程で行われます。特に中学生の参加する中みこし、あるいはおはやし等、子どもたちが活躍しております。そういった意味で、二宮あるいは増戸の神社についても、地域の伝統文化が継承されているということで大変喜ばしいことだなというふうに思っております。

それでは、ただいまから令和7年あきる野市教育委員会9月定例会を開会いたします。

本日は教育委員全員が出席しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に規定する定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

また、事務局では貝賀指導主事が研修のために欠席しております。

それでは、議事日程に従って会議を進めたいと思います。

まず、議事録署名委員については、岡部委員と田島委員を指名します。

それでは、議事に入ります。

日程第1 議案第17号令和7年度あきる野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和6年度分）報告書についてを上程いたします。

それでは、説明を教育部長をお願いいたします。

教育部長。

教育部長（鈴木将裕君）

それでは、議案第17号令和7年度あきる野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価、令和6年度分の報告書について説明いたします。

提案理由ですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく、あきる野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、あきる野市教育委員会事務点検及び評価実施要項に基づき、令和6年度分の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、別紙のとおり報告書を作成いたしましたので、教育委員会の承認を求めます。

評価内容等につきましては、この後、教育総務課長のほうから説明をさせますので、ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

教育長（丹治 充君）

教育総務課長。

教育総務課長（木村紋子君）

それでは、令和6年度に実施いたしました教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について説明をさせていただきます。

本点検評価は、令和4年3月に策定いたしましたあきる野市教育基本計画（第3次計画）に掲げられている事務についての点検、評価となります。

今年度の点検評価実施方法についてご説明をいたします。具体的には、各担当において令和6年度に実施いたしました各事業の取組状況と実績値を記入いたしました。これを踏まえ、部課長級の職員が各事業ごとの課題について記入いたしました。このような作業に

より作成したものを事務局案として取りまとめ、これを有識者による意見、修正を経て、本日お示しをいたしております。

最後に、今後の予定でございますが、本報告書案は、本日の審議内容を踏まえ、決定したものを市議会に提出いたします。さらに、図書館や市の情報公開コーナーなどに配置するとともに、市のホームページに掲載する予定となっております。

説明は以上となります。

教育長（丹治 充君）

それでは、これから質疑に入りたいと思います。

何か質問等がありましたら、挙手をお願いいたします。

小西委員。

教育長職務代理者（小西フミ子君）

まず、感想を述べさせていただきますが、この点検評価の資料を見せていただいて、各部門の皆さんのご尽力をとっても感じました。とつてもありがたいなと思いました。点検評価をしていただいた森田先生や手塚先生のご意見も毎年隔々まで見ていただいているのを感じ、今後も子どもたちのためにも、よりよいあきる野の教育を目指していけたらいいなと思いました。そして、その中でちょっと質問もしたいところがありますが、指導室、11ページなんです。

教育長（丹治 充君）

11ページ。

教育長職務代理者（小西フミ子君）

11ページなんです。指導室が主で考えてくださっている小中一貫教育の推進について、一番下に課題として「保護者の協力を得て、必要に応じた児童・生徒の情報連携を充実させる」と書いてありますけれども、これは、保護者が、どのような協力をしてくれることを、期待しているのか教えてください。

教育長（丹治 充君）

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

具体的には個々の個別のケースになります。幾つかの事例の中として、例えばですけれども、小学校の段階でこういうつまずきがあったとか、こういう苦手なところがあったとか、こういう指導を繰り返してきたというようなことについて、中学校に上がるタイミングで引き続きそういった学校での配慮、支援をしてほしいというような保護者の要望があった場合は、それを小学校から中学校に伝えてよいかというような確認を保護者と学校のほうでさせていただいて、引き続き支援することもありますし、保護者の方が小学校はこうだったけれども、中学校になったらこうしてほしいというようなところで、じゃ家庭でもこういうふうに指導していくので、学校のほうでも、こういうふうに対応してほしいというふうな、一人一人のニーズとか状況に応じて、小学校と中学校の先生と保護者がそういった形で協力をして子どもを見守る、指導していくというふうなことが考えられます。

以上です。

教育長（丹治 充君）

小西委員。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

分かりました。すみません。ということは、全員の保護者に確認するわけじゃなくて、小学校のときに何かあったとき相談を受けたり何かした児童に関して、その方の保護者に聞くということですよ。

教育長（丹治 充君）

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

基本的に、ここに記載しているものは、「児童・生徒理解・支援シートを作成し」という児童・生徒についてということなので、基本的に作成している児童・生徒については、学校間、また保護者の中で、そういった話はされております。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

はい、分かりました。ありがとうございます。

教育長（丹治 充君）

よろしいですか。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

はい。

教育長（丹治 充君）

そのほか。

それでは、坂谷委員、どうぞ。

委員（坂谷充孝君）

先に失礼します。それでは、全体的には細やかな、先ほど小西職務代理人もおっしゃられたように、多岐にわたって各分野に分かれた施策は取れているということ。また、それぞれについて点検評価が行われているふうに感じました。これを先につなげていく必要があるというふうにも重ねて感じました。その中で、私は18ページから多様な教育的ニーズに対応した教育の提供というところで、特に特別支援教育の推進について感想というか、述べさせていただきたいと思います。

本市では、全国的にも先駆けた特別支援教育が行われてきており、就学支援シートであったり、また、個別の指導計画というものによって必要な支援を子どもたちが絶えることなく受けられる。そして、それぞれのオーダーメイドとまではまだまだいかないですけれども、その場に応じた必要な支援を受けられる体制が整えつつあるというふうに感じております。その中で、今回、現場とそれを評価したときの感覚というのが違うのかもしれないですけれども、課題のところ、これまでも取り組んできているんだけれども、就学支援シート等の資料を作成するだけでなく、活用するように周知徹底を図るようにする。もう何年、20年近くやってきているところで、まだ、ここというのは、仮にそうだとしたら残念であるし、活用をかなりできている部分もあると思います。というのは、就学支援シートによって就学したときに必要な支援を受けて、また、その先には個別の指導計画というものを策定した上で支援をしているというふうにつながっていると思います。

26ページを見ますと、その実績値を書き添えていただいておりますね。こちらは、個別指

導計画の作成人数というところを見ますと、ご存じのとおり、児童数というのは間違いなく減っているわけですが、パーセントというのは横ばい、もしくはパーセンテージが増えたりと。必要な、個別の指導計画が必要であるという方、数が増えているというふうにも捉えられるかなというふうには思います。

そこで、こちらには書かれていないんですけども、就学支援シート、つまり就学前から就学に向けてで就学支援シートを保護者の方と就学前施設が書いた、そういったケースというのは、これまで3年ほどですかね、どんなふうに移行しているかを教えていただけますでしょうか。

教育長（丹治 充君）

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

就学支援シートの作成件数につきましては、特別支援教育推進計画（第4次計画）のほうには、令和元年度から令和4年度までの件数については、そちらに記載をさせていただいているところです。令和4年度の作成件数が113、令和5年度は144、令和6年度の作成が119件でございます。

以上です。

教育長（丹治 充君）

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

ありがとうございます。感覚としてですけども、子どもの数は減っているけれども、個別の支援が必要だという方は横ばい、もしくは増えているように感じております。この一人一人の必要な支援をしていくんだということ。そして、それを作成するだけでなく、活用するんだということ、そして、それについて活用した結果どうだったかというところまで評価、それについても評価、またブラッシュアップというのができる体制というのを今後つくっていったら、未来に向けた特別支援教育というふうにつなげていけるんじゃないかなというふうに感じてご意見を申し上げました。

以上でございます。ありがとうございました。

教育長（丹治 充君）

そのほかの委員の皆さん、いかがですか。

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

では、私は、昨年も質問させていただいたかなとも思うんですけども、図書館関係でお伺いをさせていただきます。

その前に森田先生、それから手塚先生のこのご意見ですか、これを見させていただいても、一つ一つ細かく評価していただいています。本当にその中で言われていることを、教育委員会全体でも、さらにこれから取組、推進をしていただきたいなというふうに考えています。森田先生の中でも図書活動の推進、図書館サービスの充実ということも挙げられておりますので、まず図書館で、「読書週間等に合わせた読書リストを3回作成し、保育園・小学校に配布した」というふうにあるのですが、中学校のほうへの配布はあったのか、

それとも、今後予定をするのか、それとも、特にその辺は考えていないのかということと、この調べ学習などで市内の学校に対して学級文庫をまとめて本を貸し出すなどということと、団体への貸出し等についても書かれていますけれども、その中でも小学校、中学校等についての回数とか校数とか、学級数とか分かっていたら教えていただければありがたい。

教育長（丹治 充君）

何ページに。

委員（岡部秀敏君）

13ページです。

教育長（丹治 充君）

13ページ、見てください。

それでは、図書館長。

図書館長（青木邦彰君）

それでは、お答えします。まず、小学校のほうは行っているんですが、中学校に関しては、現在行ってはおりません。まだ、検討段階で実現というところまでは行っていません。

あと、貸出し等のものなんですけど、一応中央図書館のほうで園児などには令和6年なんですけど、中央図書館のほうから神明保育園などに74件とか、あと、実際、学童クラブとかにも五日市図書館のほうから101件などを行っておりまして、あと団体のほうも、こちら保育園中心になってしまうんですけど、中央図書館から神明保育園に16件とか12件行っているところがございます。

以上でございます。

教育長（丹治 充君）

よろしいですか。

はい。

委員（岡部秀敏君）

ありがとうございます。やはり今読書離れが言われている時代ですので、ぜひこれからも啓発活動等を進めていただいて、何とか小学生、中学生、または保育園、幼稚園もそうでしょうけども、そういう読書に触れる機会を考えていただければありがたいと思います。よろしく願いいたします。

教育長（丹治 充君）

そのほかいかがでしょうか。

それでは、田島委員。

委員（田島弘之君）

4点お願いいたします。1つずつ、教えていただけたらと思います。

教育長（丹治 充君）

じゃ1つずつ行きましょう。

委員（田島弘之君）

はい。15ページ、食育の推進のところですが、学校給食の試食会3校とありますが、

差し障りがなかったら学校名を教えてくださいと今後の参考になります。

それから、その下の料理教室、これも学校で行ったということであれば、それも併せて教えてくださいと思います。

まず2点です。

教育長（丹治 充君）

学校給食課長。

学校給食課長（田倉崇史君）

試食会の開催している学校ということなのですが、すみません、ちょっと資料のほうございませんで、後ほど報告させていただきます。

3校で参加者のほうは98人のご参加となっております。

料理教室のほうなのですが、こちら夏休み料理教室という位置づけで事業展開してございまして、公民館のほうを活用して実施をしている状況でございます。

以上です。

委員（田島弘之君）

ありがとうございます。

教育長（丹治 充君）

よろしいですか。

委員（田島弘之君）

はい。

次、2点目。

教育長（丹治 充君）

その次、お願いします。

委員（田島弘之君）

19ページです。特別支援学級・特別支援教室の充実のところですが

けれども、ここに「適切な指導が確実に行われるよう、定期的な授業観察や指導・助言」ということが課題として挙げられています。今、特別支援を必要とする児童・生徒には多様性に対する対応が求められています。若手教員とかベテランでもやはり対応に苦慮されている方が増えているのではないかと思います。したがって、授業観察、指導・助言だけではなくて、研修や講習のような形で、そのような時間を設けていただいて、このケース、この事象についてはどう対応したらというものや実践的なものを、それを少しずつでも積み重ねていただきたいと思います。本当に忙しい学校の中の工夫になりますけれども、ぜひ、お願いできたらと思います。これは要望になります。

教育長（丹治 充君）

じゃ今の要望として承りました。

委員（田島弘之君）

3点目になります。21ページです。不登校児童・生徒への対応の充実のところになります。今、本当に教育委員会、指導室のほうでも指導をしていただいてカラフルルーム、それから校内のカラフルルームが進められていると思いますけれども、今、校内カラフルルームの、市内、今16校ありますけれども、その辺りの進捗状況と申しますか、実態と

いいですか、もし分かれば差し障りのない程度で教えていただけたらと思います。

教育長（丹治 充君）

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

16校それぞれに校内カラフルルーム設置しておりますが、活用については様々な今事例があります。例えばですけれども、校内カラフルルームに来た生徒が、通常の自分の在籍している教室とオンラインでタブレットを使って、ちょっと教室に入るのは難しいんですが、カラフルルームからオンライン授業に参加をしているというようなお子さんもおります。また、校内別室指導支援員や教員補助員等、人的な配置もしておりますので、なかなか学校に入ることができなかつたお子さんが、学校の先生というのはちょっと難しいけれども、そういった支援員の方とお話をしたりとか、そういうことで居場所機能として活用している、そんな事例もございます。

以上でございます。

委員（田島弘之君）

ありがとうございます。

教育長（丹治 充君）

よろしいですか。

委員（田島弘之君）

はい。では、あと1点です。

教育長（丹治 充君）

はい。

委員（田島弘之君）

ごめんなさい、ちょっとページ遡って18ページになります。校内委員会の充実のところでは、課題のところ、今後とも支援の内容を共有し、確実な支援につなげていく必要があるという課題が挙げられていますけれども、学校訪問等で各学校回ってみると、もう、かなりこれは達成できているのではないかなと思われま。ですから、各学校の取組がもうある程度は出来上がっているのかなというところを、ここの課題の中に含めていただいて、さらにその先にある課題のほうにつなげていただくような内容のほうに今後に向けてはいいのかなと思いますので、各学校の頑張りもちょっと、進捗状況ですかね、それも載せていただきながら、さらにこうすればというような課題を載せていただければと思います。お願いいたします。これも要望です。

教育長（丹治 充君）

これについて、ご意見を含めて今ありましたけども、指導担当課長のほうから。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

貴重なご意見ありがとうございます。こちらに、この課題を載せさせていただいた意図としては、確実な支援につなげるということに終わりはないというか、より、常によりよい支援をしていくというような意味合いでの課題としておりましたが、今、ご指摘いただいたことを踏まえて、次年度、また、さらによりよくするための取組をしてまいりたいと

思います。

以上です。

教育長（丹治 充君）

よろしいでしょうか。

委員（田島弘之君）

はい。これだけの本当に多岐にわたる内容、日々教育委員会のほうで取り組んでいただいて本当にありがとうございます。

教育長（丹治 充君）

そのほか。

小西委員。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

すみません、遑ってすみません。12ページなんですけれども、AETの一番下の指導室のことなんですけれども、実際何名の講師がいらして、そしてお互いに授業のやりやすさとか、ご本人としてやりにくいこととかが、こちらの教育委員会のほうに上がってきているんでしょうか。

AET自身が教えていて、授業で教えていてやりにくいとか。ここはちょっと大変であるとか、何か改革してもらいたいとかという、先生側の要望とか何か考えたこととかを、例えば定期的に教育委員会として、AETの講師と定期的に会ってお話を聞くとかって、そういうことはないんですか。

教育長（丹治 充君）

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

まず、AETの人数につきましては、4人のAETを授業等に派遣しております。

AETの声というのは、直接AETと私たちが話をする機会というのはないんですけれども、その派遣元の、派遣会社の方とは定期的に話をさせていただいている中で、授業の様子だとか、子どもたち、または担任の先生との関わり等について、状況については共有して、よりよくするために派遣元の会社の方と話をすることはございます。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

そうですか。はい、分かりました。

教育長（丹治 充君）

いかがでしょうか。よろしいですか。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

はい、大丈夫。分かりました。ありがとうございます。

教育長（丹治 充君）

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

では、あと3つ。3点お願いします。

まず、24ページです。教育施設担当ということで、学校施設の保全については日頃か

ら気を遣っていただいている、大変ありがたいと思います。その上に、一番上のところに書いてあるように、「優先順位を付け整備を実施した」ということで、これは6年度の点検評価だと思しますので、その時点での整備を実施した施設について教えていただければというのが1点目。

2点目ですけども、その下の新学校給食センターの整備。これも、長期間、日の出町と共同で進められていると思います。前の教育委員会のときに、今のところ順調に進んでいるというお話をたしか伺ったと思いますので、これは要望です。ぜひ子どもたちが健康で安全なおいしい給食が食べれるように今後とも努力していただければということが要望です。2つ目です。

最後です。隣の25ページの日本語指導講師を派遣ということでもありますけれども、教育委員会として捉えている必要な児童・生徒の数と、それに対応した講師を派遣した数、6年度の実績で構いませんので、教えていただければというふうに思います。

以上です。

教育長（丹治 充君）

それでは、まず施設担当課長。

教育施設担当課長（坂本雅典君）

委員の質問にお答えいたします。優先順位をつけて施設設備の保全ということで、令和6年度につきましては、空調設備は当然のことなのですが、西秋留小及び五日市中学校のまず工事の設計を優先順位をつけさせていただきました。あと五日市中、御堂中の放送設備、あと保健室の空調、また五日市小学校の特別支援教室の空調の工事、その辺の工事になります。

以上でございます。

委員（岡部秀敏君）

ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします

教育長（丹治 充君）

それでは、日本語指導、指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

令和6年度の日本語指導講師につきましては、中学校2校の2人に対して講師をつけております。いずれも英語になります。

以上です。

教育長（丹治 充君）

要望ということで新学校給食センターの件もちょっと上がっていましたけども。

はい。

学校給食センター建設準備担当課長（和田達也君）

ちょっとこの後、また各課の報告のほうで詳しくご説明したいと思いますが、引き続き、ちょっと今ここでいろいろ事業が遅れている部分もございます。後ほどご説明したいと思いますが、引き続き努力をしていきたいと考えております。

以上でございます。

教育長（丹治 充君）

いかがでしょうか、そのほかありましたらお願いいたします。

よろしいですか。いいですか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

質問等がないようですので、これをもって質疑を終了いたします。

日程第1 議案第17号令和7年度あきる野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和6年度分）報告書についてお諮りいたします。原案のとおり承認することに異議はございませんか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

異議なしと認めます。

日程第1 議案第17号令和7年度あきる野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和6年度分）報告書については、原案のとおり承認されました。

続きまして、日程第2、教育長及び教育委員報告に入りたいと思います。

それでは、私のほうから2点ほど報告いたします。8月23日には、あきる野市市制施行30周年記念第30回総合スポーツ祭開会式が開催されました。様々なスポーツ大会がある中で、ウインタースポーツを含めまして、来年3月まで30種目が約5,000名により繰り広げられる予定でございます。また、そのほか、今夏には中学生の分野で大変活躍が目立ちまして、西中学校陸上競技部の全国大会出場報告、あるいは増戸中学校生徒の世界ポニーベースボール大会出場の優勝報告、あるいは秋多中学校剣道部男女チームの関東大会出場、そして、東海大学菅生高等学校中等部女子ソフトボール部が全日本中学校総合体育大会で昨年に続き2連覇の報告がありました。

そして、昨日9月の定例議会が終了いたしました。

以上です。

ほかの教育委員の皆様方から何か報告はございますか。

教育長職務代理者（小西フミ子君）

質問です。

教育長（丹治 充君）

はい。

教育長職務代理者（小西フミ子君）

今の教育長のポニーベースボールというのはどういうものなのか。

教育長（丹治 充君）

スポーツ推進課長。

スポーツ推進課長（一瀬秀和君）

ポニーベースボールは、アメリカ発祥なんですけども、野球は野球なんですけど、硬式球を使った小学生の部門と中学生のジュニアの部門のアメリカが中心となってやっているようです。ほかにもボーイズリーグとかシニアリーグとか、そういった団体がそれぞれあって、その団体の一つがポニーベースボール。ポニーベースボールは、アメリカのメジャー

リーグの選手がほぼポニーベースボールの出身の選手が多いということと、今も日本のポニーベースボールの代表が元ヤクルトとかジャイアンツにいた広澤克実選手が代表でいて、日本のプロ野球選手でもポニーベースボール出身の選手がかなりいると聞いておりますので、そこで、この中学生部門で増戸中の生徒が世界一になったということ、先ほど教育長のほうでご説明いただいたところです。

以上です。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

ありがとうございました。初めて聞いたものですから。昔からあったんですね。ありがとうございます。

あともう一つ。

教育長（丹治 充君）

はい。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

増戸中に橋本夏季さんって全盲の方のソプラノのソリストの歌を聞きに行ったんですけども、一時期小学校低学年のとき子どもの合唱団で練習をしていたんですね、公民館で。そのときからものすごくきれいな声だなって思っていました。本当に澄んだ声というのが印象的でした。それから、何年か後に五日市高校に通われたようです。通学のために点字ブロックが駅から、作られたというの伺いました。そして最近いろいろなところでソロでキララホールとかで演奏するのを何回か聴いて、本当にご本人もおっしゃっていましたけども、好きなことをしたいという気持ちが今の自分を押ししてくれた感じがしまして、とってもよかったです。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。全盲の方も読めるような点字が、今回、図書館のほうで展示してありますので、また機会ありましたら紹介してやってください。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

はい。

教育長（丹治 充君）

そのほか。

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

じゃ2つ報告させてください。

1つ目は、大島・子ども体験塾新聞発表掲示を1階のコミュニティホールで9月1日に見させていただきました。本当に参加した子どもたちが楽しく学んだ様子が感じ取ることができる展示だったというふうに思いました。ぜひ、これからも継続して子どもたちのために、そういう事業が充実するといいなというふうに思いながら見させていただきました。

2つ目ですけども、9月2日に前田小学校の学校公開、午前中だったんですけども、行かせていただきました。校内見させていただくと同時に、校長先生が、今日は市民プールへ子どもたちが行っているんだということなので、市民プールのほうへも行かせていただ

いて、子どもたちが学校外でプール指導を受けている様子を見ました。そのときは、大型バスが2台駐車場に止まっていたので、ほかの学校、地域とも見て、こういう大型バスが入れる学校とか、いろいろな条件が加わって、これから検討していく中で大変だろうなというのを感じたと同時に、もう一つは、プール内見させていただいたときに、指導する先生方、それからプールの職員でしょうか、こういう大勢の大人が見守る中で、子どもたちが授業に参加していたということで、そういう面では安全管理というのが確保されている学校よりも、もしかすると安全管理が高いのかなというふうなことも感じさせていただきました。なかなかあきる野市という地域を考えると、一概にはすぐそういう方向に移行するというのは難しいのかなと思いながら見させていただきました。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

そのほか何かございますか。

田島委員。

委員（田島弘之君）

活動報告の中で何点か感じたことを申し上げます。8月20日の日にアートスタジオのほうと、それから郷土資料館を見学してきました。「五鉄から五日市線へのあゆみ」というビデオを再生していたのですがけれども、私の生まれ育った30年代とか40年代、その変化を見ることができて大変懐かしく思い、こういう時代があったんだというふうに改めて感じたところです。

それから、9月6日になりまして、「家庭の日」の推進事業でコメディサーカスを見させていただきましたけれども、非常に楽しかったです。大人が見てもすばらしい技術もあり、笑わせる話術もあり、また見たいなと思いますので、もし、またこの方たちを呼ぶ機会がありましたら、ぜひお願いしたいと思います。ただ、知り合いから、9月に最初に1日に広報だと思いますが、公表されてすぐに満席になってしまって、もう受け付けてもらえなかったという話を聞きました。当日行ってみると後ろのほうが、席が5分の1ぐらひは、まだ空いていました。ですから、当日行けなくなった方とかね、取りあえず申し込んでおくという方もいたんだと思いますけれども、本当は見たい人が、行きたい人が行けなかった。それで後ろに空席があったというのがちょっと残念に感じました。

3つ目。それから、各学校行ける範囲で学校公開とか道徳授業に行かせていただいていますけれども、先生の板書、黒板の字がきれいなんです。こういう環境で子どもたちが育てられれば、手本となり、よい影響を与えるのではないかと思います。

以上です。

教育長（丹治 充君）

生涯学習推進課長。

先ほどのお話あったこと、補足ありますか。

生涯学習推進課長（石川尚昭君）

田島委員、ご指摘ありがとうございました。やはり無料ということもありまして、当日

キャンセルが非常に多かったのが事実でございます。一応、そのキャンセル分を見越して当日のご案内もした方もいらっしゃったんですけども、ちょっと周知が間に合わなかった部分もございまして、ご希望に添う形ではなかったのかなと感じております。来年度以降は、このようなことがないように、多くの方に見ていただけるよう努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

教育長（丹治 充君）

そのほかありませんか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

質問等がないようですので、教育長及び教育委員報告は終了いたします。

最後に、事務局から今後の日程等についてご案内をお願いします。

教育総務課長。

教育総務課長（木村紋子君）

それでは、今後の日程等についてご案内をさせていただきます。

学校訪問からまとめてご案内をさせていただきます。9月29日月曜日、御堂中学校、9月30日火曜日、東中学校、10月10日金曜日、五日市小学校、10月20日月曜日、増戸中学校の学校訪問を予定しております。

次に、日付遡りますが、10月8日水曜日、東京都市教育長会定例会が東京自治会館にて開催されます。

10月15日水曜日、東京都市町村教育委員会連合会管外視察研修会が茨城県つくば市で開催されます。

次回、10月の定例会でございますが、10月21日火曜日、午後2時から505会議室で開催いたします。

私からの案内は以上となります。

教育長（丹治 充君）

それでは、以上をもちましてあきる野市教育委員会9月定例会を終了いたします。

閉会宣言 午後2時45分